

平成 28 年度

事 業 報 告 書

公益社団法人 千島齒舞諸島居住者連盟

事業報告書

平成 28 年度事業計画に基づき次のとおり事業を実施したので、その概要を報告する。

1 北方領土返還要求運動の推進

北方領土返還要求運動の推進を図るため、関係機関及び関係団体と連携し次の事業を行った。

(1) 北方領土返還要求署名運動の推進

ア 署名活動の推進

北方領土の返還に向けた国民世論の結集を図るため、関係機関及び関係団体と連携し北方領土返還要求署名活動を行った。

① 北方領土返還要求署名運動推進北海道連絡会議の開催

開催期日等：6月30日(木) 札幌市 出席者：11名
参加団体：北海道青少年育成協会、北海道町内会連合会ほか 8団体

② 北方領土返還要求署名活動の実施

平成 28 年度署名者数	平成 28 年度末累積署名者数	摘 要
1,401,912	89,053,177	平成 28 年度関係機関・団体別署名 収集数は巻末資料 1 参照

イ 国会請願及び政府・国会要請の実施

北方領土の早期返還及び元居住者の援護対策の推進等を図るため、政府及び国会に対し要請を行った。

① 国会請願

北方領土の早期返還の実現を期するため、衆・参両議院に請願を行う予定であったが、国会日程等の都合により中止となった。

② 政府要請

北方領土返還促進に関する要請を行った。

請願期日	請 願 先	場 所	摘 要
10月31日(月)	内閣総理大臣 安倍 晋三 内閣府北方対策担当大臣 鶴保 庸介 国土交通副大臣 田中 良生 外務副大臣 岸 信夫 内閣府審議官 武川 光夫	総理大臣官邸	〈要請者〉 北海道知事 北方同盟会長 理事長 外

(2) 北方領土問題早期解決の要請

北方領土の早期一括返還、元居住者の権益保護、後継者の育成強化などについて政府及び国会議員等に要請を行った。

要請期日等	主な要請事項	要請先	要請者
4月7日(木) 東京都	○北方領土早期一括返還 ○自由訪問事業及び北方領土墓参の円滑な実施 ○自由訪問対象者の拡大	山本内閣府北方対策本部審議官 原田政府代表・日露関係担当大使 宮腰衆議院議員	理事長 副理事長(河) 専務理事
5月11日(水) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○北対協融資制度の充実	衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会	理事長 副理事長(河) 根室管内支部長 根室管内青年部長
5月30日(月) 札幌市	○自由訪問事業の円滑な実施	徳田外務省欧州局ロシア課長 山本内閣府北方対策本部審議官	理事長 両副理事長 専務理事
6月30日(木) 中標津町	○北方領土問題の早期解決	永岡外務省欧州局ロシア課長補佐	専務理事 根室管内支部長 根室管内青年部長 (根室支部を除く)
9月17日(土) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○北対協融資制度の充実	鶴保内閣府北方対策担当大臣	理事長 副理事長(河) 専務理事 根室管内支部長 根室管内青年部長
10月29日(土) 根室市	○北方領土問題の早期解決	石原内閣府副大臣	理事長 副理事長(河) 専務理事 根室管内支部長 根室管内青年部長
11月2日(水) 東京都	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○北対協融資制度の充実	公明党北方領土問題特別委員会	理事長 専務理事
11月10日(木) 羅臼町	○北方領土問題の早期解決	西川内閣府事務次官	理事長
11月14日(月) ～15日(火) 根室市 羅臼町	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○北対協融資制度の充実	北海道議会北方領土対策特別委員会	理事長 副理事長(河) 専務理事 根室管内支部長 根室管内青年部長
1月12日(木) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○自由訪問事業及び北方領土墓参の円滑な実施 ○元島民の権益の補償等 ○後継者の育成強化に関する要望	参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会	理事長 副理事長(河) 専務理事 根室管内支部長 根室管内青年部長

要請期日等	主な要請事項	要請先	要請者
2月24日(金) 根室市	○北方領土問題の早期解決	毛利外務省欧州局ロシア課長	理事長 副理事長(河) 専務理事 根室管内支部長 根室管内青年部長
3月8日(水) 東京都	○北方領土問題の早期解決	自民党北方調査会	理事長 専務理事
3月15日(水) 東京都	○北方領土墓参・自由訪問事業の充実 ○残置不動産の保護と取扱い ○財産権の不行使に対する補償	山本自民党北方調査会長 鶴保内閣府北方対策担当大臣 世耕経済産業大臣 道内選出国會議員 外	知事 副理事長(河) 専務理事
3月30日(木) 根室市	○北方領土問題の早期解決	相木外務省欧州局審議官	理事長 副理事長(河) 専務理事 根室管内支部長 根室管内青年部長

(3) 北方領土問題に関する研修

ア 北方領土問題セミナー

北方領土問題を巡る現状や歴史的経緯等に対する理解と認識を深めるため、理事、監事及び一般住民を対象とするセミナーを開催した。

開催期日等	内 容
4月26日(火) 札幌市 出席者 43名	〈講演〉 演題：「安倍総理訪ロと日ロ交渉」 講師：NHK放送総局解説委員室解説主幹 石川 一洋 氏 〈質疑等〉

イ 北方領土問題地域学習会

北方領土問題への理解と認識を深めるため、各地域の元島民等や地域住民を対象に地域学習会を開催した。

主管支部	開催期日等	内 容
道北支部	10月29日(土) 旭川市 出席者 33名	〈講演〉 演題：「北方領土問題を次世代につなぐために」 講師：北海道新聞社東京報道センター 水野 薫 氏 〈元島民による語り部〉 高塚正勝 氏 (水晶島)
道央支部	11月26日(土) 札幌市 出席者 89名	〈講演〉 演題：「安倍一強時代の日ロ外交」 講師：北海道新聞社東京報道センター 小林宏彰 氏 〈元島民による語り部〉 板倉 稔 氏 (色丹島)

ウ 島民組織代表者会議

元島民の立場から、北方領土問題の現状等や自由訪問事業等について協議検討し、相互の連携を深め北方領土問題への理解と協力を得るため、代表者会議を開催した。

開催期日等	内 容
10月5日(水) 根室市 出席者 18名	①平成28年度における主要事業の実施(予定)状況 ②平成28年度自由訪問事業の実施状況 ③平成28年度北方領土墓参・北方四島交流の実施状況 ④北方領土関連資料保存整備事業 ⑤平成29年度自由訪問事業等の実施箇所検討(案) ⑥会費未納会員に係る取組

エ 指導者養成研修会

北方領土問題について一般国民の理解と協力を得ることを推進するため、各支部の役員等を対象に返還運動のあり方、当連盟の実施事業等について検討協議する研修会を開催した。

開催期日等	内 容
5月31日(火) 札幌市 出席者 24名	①北方領土返還要求運動の推進 ②北方領土返還の啓発 ③後継者の育成 ④組織基盤の強化

(4) 北方領土関連資料の収集・保存

戦後70年以上が経過し、元島民の高齢化、減少に伴い、自由訪問及び北方領土墓参事業における目的地への移動等に支障を来していることから、円滑な事業実施に資する資料として「北方四島墓地・元居住地概況調査報告書～択捉島～」を作成した。

(5) 地域活動の推進

それぞれの地域で実施している北方領土返還要求運動を支援するため、千島連盟各支部へ活動交付金を交付し、また、青年部を設置している支部には、後継者による返還要求運動を推進するための活動交付金を交付し、支部における地域活動を推進した。

(6) 北方領土返還要求運動各種大会等への参画

関係機関及び関係団体が実施する北方領土返還要求運動に参画した。

行 事 名 等	行 事 名 等
8月7日 北方領土返還要求根室市民大会(根室市)	1月21日 第31回“北方領土を考える”高校生弁論大会(札幌市)
8月21日 第35回北方領土ノサップ岬マラソン大会(根室市)	2月5日 第67回さっぽろ雪まつり北方領土返還要求署名活動 ～11日(札幌市)
8月26日 2016北方領土返還要求北海道・東北国民大会(札幌市)	2月5日 平成29年「北方領土の日」祈念大阪府民大会(大阪市)
9月11日 連合「2016平和行動in根室」(根室市)	2月7日 平成29年北方領土返還要求全国大会(東京都)
9月19日 第12回北方領土まで歩こう会(根室市)	2月7日 2017北方領土フェスティバル(札幌市)
11月24日 第35回北方領土返還要求山形県民大会(新庄市)	2月7日 2017「北方領土の日」根室管内住民大会(根室市)
12月1日 北方領土返還要求行進中央アピール行動・街頭啓発(東京都)	

2 北方領土問題に関する啓発

北方領土返還要求運動を啓発するため次の事業を行った。

(1) 啓発活動の推進

ア 各種啓発事業の実施

地域住民等に、北方領土問題への理解と関心を深めてもらうための啓発活動として、千島連盟の各支部を中心とした地域において、啓発資料の作成、「語り部」等による講演会、パネル展示、イベント会場等での署名活動、インターネット利用した北方領土検定など、各種啓発事業を行った。

イ 啓発推進員の配置

地域住民等に、北方領土問題への理解と協力を得るため、函館、オホーツク、釧路、別海町、中標津、標津、羅臼及び富山の8支部に「啓発推進員」を配置し、啓発活動や元島民及び後継者の返還要求運動への参加促進を図った。

(2) 広報紙の発行

返還要求運動や啓発事業などの情報提供を行うため、「返せわれらが故郷」（237号、238号、239号）を各4,200部発行し、会員及び関係機関・関係団体等のほか、希望する一般住民へ配布した。

(3) 「北方領土の語り部」事業

ア 語り部の育成

元島民後継者が元島民の思いを語り継ぐ「語り部」の重要性を認識し、その役割を担うよう育成するため講習会を行うとともに、地域住民を対象に発表会を行った。

対象支部	開催期日等	出席者	語り部
中標津支部 別海町支部	11月19日(土) 中標津町	元島民等 25名 一般参加者 9名	元島民：佐藤 健夫 氏 (水晶島) 後継者：館下 雅志 氏 (国後島二世) 後継者：上月 昭彦 氏 (国後島二世)
根室支部	1月17日(火) 根室市	元島民等 36名 一般参加者 16名	元島民：河田弘登志 氏 (多楽島) 後継者：広瀬知香子 氏 (志発島三世) 後継者：木村 智美 氏 (多楽島三世)

イ 語り部事業の実施

元島民が北方領土への望郷の思いや四島での貴重な体験などを語り伝え、北方領土問題や北方領土返還要求運動に対する国民意識の高揚を図るため、関係機関及び関係団体と連携し、「語り部」事業を道内外で実施した。

区分	開催期日等	共催	出席者	語り部
道内	11月2日(水) 札幌市	北海道	藤女子大学 教員志望者：30名	小田島梶子 氏 (色丹島)
	11月7日(水) 留萌市		留萌市立港南中学校 3年生：55名	小田島梶子 氏 (色丹島)

区分	開催期日等	共 催	出 席 者	語 り 部
道外	8月20日(土) 福島県二本松市	全国地域婦人団体連絡協議会 二本松市婦人団体連合会	参加者：125名	木元 護 氏 (国後島)
	9月3日(土) 佐賀県佐賀市	全国地域婦人団体連絡協議会 佐賀県地域婦人連絡協議会	参加者：350名	児玉 泰子 氏 (志発島)
	9月7日(水) 山口県下関市	全国地域婦人団体連絡協議会 下関連合婦人会	参加者：65名	山本 忠平 氏 (択捉島)
	9月11日(日) 熊本県熊本市	全国地域婦人団体連絡協議会 熊本県地域婦人会連絡協議会	参加者：90名	山本 昭平 氏 (択捉島)
	9月27日(火) 秋田県能代市	全国地域婦人団体連絡協議会 能代市連合婦人会	参加者：120名	鈴木 咲子 氏 (択捉島)
	11月12日(土) 静岡県富士市	全国地域婦人団体連絡協議会 女性ネットワーク・富士	参加者：80名	野口 繁正 氏 (国後島)

ウ 語り部の派遣

北方領土問題への関心と北方領土返還要求運動に対する意識の高揚を図るため、「北方領土の語り部」として元島民や後継者を関係機関及び団体等が実施する研修会、学習会等に派遣した。

〈派遣状況〉

派遣事業名（主催）	派遣数	派遣事業名（主催）	派遣数
北方四島交流事業等研修会（道推委・北対協）	14名	各種研修等（北対協、県民会議）	10名
北方領土青少年等現地視察支援事業（各県民会議）	19名	後継者育成・啓発素材アウトプット事業（北海道）	12名
修学旅行等（旅行会社）	6名	北海道主催、各支部等による派遣	87名
現地大会（連合、全国地婦連など）	7名	千島連盟主催事業	13名
元島民の北方領土を語る会（北方同盟）	5名	合 計	173名

3 北方地域元居住者等の援護対策の推進

元居住者の援護対策の推進を図るため、次の事業を行った。

(1) 援護問題対策事業

ア 援護問題等専門委員会

元居住者等の援護問題について幅広く研究討議を行うため、援護問題等専門委員会を開催した。

開催期日等	協 議 事 項 及 び 協 議 結 果
第1回 8月17日(水) 札幌市 出席者 5名	〈講話〉 演題：「北方領土地域の権利と財産を巡る諸問題」 講師：司法書士 岩井 英典 氏（クラーク合同事務所） 〈協議事項〉 ・財産権の不行使に対する補償 ・北対協の融資制度の充実

開催期日等	協議事項及び協議結果
	<p>〈主な意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 元居住者等の生活・経済基盤が後継者に移行しているため、承継対象者を子又は孫のうち一人に限定せず、元居住者の子又は孫の全ての者に承継を認めるべきである。
<p>第2回 12月8日(水) 札幌市 出席者 7名</p>	<p>〈協議事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 財産権の不行使に対する補償 <p>〈主な意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 日露首脳会談に係る元島民へのマスコミ取材が増え、対応に苦慮している。いい方向の会談結果であればいいが、そうでなかった時が大変。 担当大臣や国会議員に対し、残置財産や旧漁業権のことを求めても無理である。政府は一貫して領土問題解決時にはテーブルに着くと言うだけで何も進んでいない。 昭和20年に財産を残して追い出されているため、国は元島民の財産権不行使という70年の空白をどう埋めるかを考えるべきである。
<p>第3回 3月9日(木) 札幌市 出席者 7名</p>	<p>〈協議事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 財産権の保護に関する今後の検討 本委員会の「意見具申書」の取りまとめ案 <p>〈主な意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 共同経済活動を始めることは、財産権の侵害となり、権利問題を棚上げにして経済交流をやるのはおかしい。元島民同士の仲間割れは駄目。 元島民は権利放棄をしないと先に進めないと思っていたが、70年間何も動かず、ただ島を返せというだけでは無理である。権利問題は先送りせずに国にハッキリ言うべき。 訪問及び受入の全てを「えとぴりか」1隻で運航しているため、超過密スケジュールとなっている。余裕のある日程で実施していくためには、高速艇や定期航路等の複数体制を導入し、利便性の向上を図るべきである。

イ 援護対策相談事業

北方領土問題に関連する諸問題の一つである元島民等の戸籍、在島残置財産、北対協融資制度等の援護問題について、相談・助言を行った。

① 戸籍、在島残置財産相続に係る指導、助言

元島民等の戸籍、在島残置財産である土地、建物の相続申出手続き等について指導、助言を行った。

② 北対協融資制度利用に関する相談、助言

元居住者等の援護措置として設けられている北対協融資制度の利用に関し、相談、助言を行った。

③ その他援護問題に関する指導、助言

元島民の援護対策の推進を図るため、役職員等が各支部を訪問し、元居住者に係る援護問題の現状等を把握するとともに、解決に向けての指導や助言を行った。

訪 問 日	訪 問 先	訪 問 日	訪 問 先
4 月 2 日 (土)	オホーツク支部	4 月 24 日 (日)	十 勝 支 部
4 月 9 日 (土)	標 津 支 部	4 月 30 日 (土)	十 釧 路 支 部
4 月 9 日 (土)	道 央 支 部	5 月 14 日 (土)	富 山 支 部
4 月 10 日 (日)	函 館 支 部	6 月 19 日 (日)	道 北 支 部
4 月 16 日 (土)	別 海 町 支 部	2 月 7 日 (火)	関 東 支 部
4 月 17 日 (日)	根 室 支 部	3 月 5 日 (日)	厚 岸 支 部
4 月 22 日 (金)	中 標 津 支 部	3 月 12 日 (日)	浜 中 支 部
4 月 23 日 (土)	羅 白 支 部		

(2) 北方四島への自由訪問の実施

人道的見地及び北方領土問題解決のための環境整備の一環として、元島民とその家族による北方四島への自由訪問事業を次のとおり実施した。

区分	訪 問 地	期間	参 加 者 数	使用船舶	備 考
第 1 回	水晶島 茂尻消 秋味場	5. 16 ～ 5. 18	元 島 民 等 31 子の配偶者等 1 同 行 者 11 計 43	えとぴりか	荒天のため、根室沖で洋上慰霊を実施
第 2 回	択捉島 ペケンリタ オダイバケ 内保	6. 7 ～ 6. 10	元 島 民 等 40 子の配偶者等 5 同 行 者 11 計 56	えとぴりか	荒天のため、内保は洋上慰霊を実施
第 3 回	色丹島 能登呂 キリトウシ 相見崎 チボイ	6. 24 ～ 6. 27	元 島 民 等 46 子の配偶者等 5 同 行 者 10 計 61	えとぴりか	荒天のため、キリトウシ及びチボイは洋上慰霊を実施
第 4 回	択捉島 グヤ 入里節 十五夜萌	7. 8 ～ 7. 11	元 島 民 等 36 子の配偶者等 7 同 行 者 11 計 54	えとぴりか	荒天のため、洋上慰霊を実施
第 5 回	志発島 カフェノツ	7. 26 ～ 7. 29	元 島 民 等 44 子の配偶者等 8 同 行 者 11 計 63	えとぴりか	荒天等のため、日程を変更して実施
第 6 回	国後島 ポンキナシリ 中ノ古丹 白糠泊 礼文磯	8. 12 ～ 8. 14	元 島 民 等 39 子の配偶者等 4 同 行 者 11 計 54	えとぴりか	荒天のため、日程を一日短縮して実施（白糠泊は中止）

区分	訪問地	期間	参加者数	使用船舶	備考
第7回	択捉島 フシココタン 紗那(リコップオナイ) 別飛	9. 2 ～ 9. 5	元島民等 32 子の配偶者等 7 同行者 11 計 50	えとぴりか	
計	5島19箇所		元島民 268 子の配偶者等 37 同行者 76 計 381		

(3) 北方領土墓参事業

人道的見地から北海道が実施している北方領土墓参について、北海道からの委託事業として、団員選考等の業務を行うほか、当連盟事業として訪問墓地での慰霊、法要を行った。

区分	墓参地	期間	参加者数	使用船舶	備考
第1班	国後島 古釜布 近布内	8. 1 ～ 8. 3	遺族 44 同行者 14 計 58	えとぴりか	
第2班	択捉島 シヤスリ 薬取	8. 5 ～ 8. 8	遺族 27 同行者 14 計 41	えとぴりか	荒天のため、薬取で合同慰霊祭を実施
計	2島4箇所		遺族 71 同行者 28 計 99		

(4) 北方四島交流事業（ビザなし訪問）

北方領土問題解決に向けた環境づくりのため、「北方四島交流北海道推進委員会」及び「独立行政法人北方領土問題対策協会」が実施する北方四島交流事業（訪問）に次のとおり参加した。

実施主体	期間	参加者数		訪問先	使用船舶	備考
			うち 元島民等			
推進委	5. 20～5. 23	64	11	色丹島	えとぴりか	荒天のため、古釜布上陸出来ず中止 台風のため中止
	5. 27～5. 30	63	13	択捉島		
	8. 26～8. 29	42	3	国後島		
	〃	(19)	(9)	択捉島		
	9. 9～9. 12	(64)	(1)	色丹島		
小計	4回	169(83)	27(10)			

実施主体	期 間	参加者数		訪問先	使用船舶	備 考
			うち 元島民等			
北対協	7. 1～7. 4	62	7	択 捉 島	えとびりか	荒天のため、日程を変更して実施
	7. 21～7. 25	60	6	国後島・色丹島		
	8. 19～8. 21	64	1	国 後 島		
	9. 15～9. 19	62	6	国後島・択捉島		
小計	4 回	248	20	—	—	
合計	8 回	417(83)	47(10)	—	—	

※各回に「北方領土の語り部」として元島民1名が参加

4 後継者の育成

今後の返還運動の担い手となるべき後継者の育成を図るため、次の事業を行った。

(1) 後継者活動の推進

ア 後継者活動委員会

元島民後継者の活動を促進し、後継者の育成を図るため、後継者事業全般について協議検討を行う委員会を開催した。

開催期日等	内 容
5月29日(日) 札幌市 出席者 委員17名	①企画運営委員会委員の選任について ②北方領土返還要求後継者街頭啓発事業について ③活動委員会におけるアンケート結果について ④その他

イ 後継者街頭啓発

後継者対策の強化及び国民の北方領土問題に対する理解と認識を深め、国民世論の高揚を図ることを目的に、次の事業を行った。

開催期日等	イ ベ ン ト 名
3月18日(土) ～19日(日) 札幌市 後継者等 40名	「学ぼう!!北方領土」 パネル展示等(基礎知識、ポスターコンテスト入賞作品、活動報告等)、 北方領土落語、紙芝居、署名コーナー、クイズコーナー、キッズコーナー など

ウ 後継者の派遣研修

北方領土問題に対する視野を広め、地域活動のリーダーを育成するため、後継者の派遣研修を行った。

派 遣 日	派遣先	派遣者
12月1日(木)	北方領土返還要求行進中央アピール行動・街頭啓発(東京都)	5名

派遣日	派遣先	派遣者
2月7日(火)	平成29年北方領土返還要求全国大会(東京都)	5名

(2) 後継者研修事業

ア 後継者活動促進全国セミナー

今後の北方領土返還要求運動の担い手となる元島民後継者や若い世代の一般市民を対象に、北方領土問題への理解と認識を深めるためのセミナーを開催するとともに、元島民後継者間の連携強化及び後継者活動の促進を図るため、意見交換を行った。

開催期日等	内 容
10月1日(土) ～2日(日) 札幌市 出席者 36名	①講演 演題:「今後の日露関係と北方領土問題の行方」 講師:拓殖大学海外事情研究所教授 名越 健郎 氏 ②後継者育成対策事業について ③財産権の不行使に対する補償要求活動の経緯について ④後継者の船ビザなし交流の内容について ⑤意見交換

イ 後継者研修会

今後の北方領土返還要求運動の担い手となる元島民後継者が、北方領土問題及び北方領土返還要求運動の推進等について協議・検討するとともに、さっぽろ雪まつり会場で署名活動を行った。

開催期日等	内 容
2月11日(土) ～12日(日) 札幌市 出席者 45名	①元島民による語り部 伊藤 光作 氏 (択捉島) ①講演 演題:「最近の日露関係」 講師:外務省欧州局ロシア課課長補佐 清水 保彦 氏 ③高校生による活動報告(根室高等学校、根室西高等学校)

ウ 北方領土問題現地青年の集い

北方領土問題への認識を深めるため、北方領土の隣接地域において、元島民後継者が企画した研修会を開催した。

開催期日等	内 容
5月21日(土) 根室市 出席者 65名	①講演 演題:「北方領土問題を次世代にどうつなげるか」 講師:北海道新聞社根室支局 水野 薫 氏 ②元島民による語り部 長谷川ヨイ 氏 (択捉島) ③高校生による出前講座(根室高等学校、根室西高等学校)

(3) 後継者キャラバン事業

各支部の後継者によるキャラバン隊を編成し、訪問地における当該自治体首長等へのアピール、パネル展及び署名活動等を通して、北方領土問題の啓発と後継者活動の活性化を図った。

また、8月に開催された「北方領土返還要求北海道・東北国民大会」において、キャラバン隊長が北方領土返還運動に取り組む強い決意を表明した。

実施期間等	訪問先
10月14日(金)～17日(月) 隊員数 22名	函館市

(4) 北方領土青少年洋上セミナー

若い世代の北方領土問題への理解と意識向上を図るため、一般の青少年を対象に、語り部や洋上視察等を通して北方領土問題について学習する洋上セミナーを元島民後継者が企画し開催した。

開催期日等	参加者	内容
7月10日(日) 羅白町	元島民後継者 21名 北海道内在住の一般青少年等 87名	①学習会「北方領土のお話」 青連協会長 白崎 賢哉 氏 ②高校生による出前講座 ③北方領土クイズ ③洋上視察 (航路：羅白港～知床岬～羅白港)

5 千島会館の運営

北方領土問題に関する啓発・研修及び元島民等の援護・組織活動の拠点施設として千島会館の供用を図るとともに、千島会館利活用運営検討会を開催した。

〈千島会館の利用状況〉

【利用回数】 198回

【利用人数】 延べ 3,056名

6 医療支援促進事業の実施

外務省との委託契約に基づき、我が国政府が、平和条約締結交渉のための環境整備に資することを目的として実施している北方四島住民支援事業（患者受入事業、医師・看護師等研修事業等）について、北方四島の医療事情の把握と新たな医療ニーズを調査し、これら支援事業のフォローアップを行うとともに、北方四島住民に対する中・長期的な医療支援という観点から、同事業の枠内で北方四島との遠隔医療について、その可能性を調査の上、医療支援事業に関する提言を含む報告書を外務省に提出した。

7 組織基盤の強化

連盟における組織基盤の強化と地域活動の推進を図るため、次の事業を行った。

(1) 北方領土返還要求運動推進功労者等の表彰

ア 内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策担当）による表彰

多年にわたり北方領土返還運動に尽力し、顕著な功績のあった者が表彰された。

【受賞者】

・角 鹿 泰 司（根室支部） ・木 元 護（函館支部） ・佐 藤 徳 一（オホーツク支部）

イ 千島連盟理事長による表彰

北方領土返還運動の推進、連盟の組織強化及び事業の推進に顕著な功績のあった者に対する表彰を行った。

【感謝状】

・小 泉 敏 夫（道央支部）

【功労者表彰】

・大 塚 小彌太（道央支部） ・佐 藤 桂 一（オホーツク支部） ・柴 一 男（十勝支部）
 ・永 塚 敬 郎（釧路支部） ・林 ト モ（釧路支部） ・宮 下 繁（根室支部）
 ・鈴 木 宏 治（根室支部） ・湊 屋 健 造（根室支部） ・臼 田 誠 治（別海町支部）
 ・大 森 安 夫（羅臼支部） ・飯 塚 幹 雄（羅臼支部）

(2) 会員加入の促進

連盟組織の維持向上を図るため、各支部及び「島民の会」との連携の下に未加入となっている元島民及び後継者に対し会員への加入促進を行った。

【平成 28 年度新規加入者数】 149 名（元島民 16 名、後継者 133 名）
 （会員数の状況は巻末資料 2 参照）

(3) 通常総会等の開催

業務の適切かつ円滑な運営を図るため、通常総会及び理事会等を開催した。

ア 通常総会

開催期日等	議 題
5 月 30 日(月) 札幌市 出席者 88 名 委任状及び議決権行使書提出者 1,665 名 計 1,753 名	①平成 27 年度事業報告に関する件 ②平成 28 年度事業計画及び平成 28 年度収支予算に関する件 ③平成 27 年度収支決算に関する件 ④理事の補欠選任に関する件

イ 理事会

開催期日等	議 題
第 1 回 4 月 27 日(水) 札幌市 出席者 22 名	①平成 28 年度通常総会の招集に関する件 ②平成 27 年度事業報告に関する件 ③平成 27 年度収支決算に関する件 ④平成 28 年度通常総会の進行次第（案）について ⑤平成 28 年度通常総会の提出議案（議案書）について ⑥宣言（案）及び決議（案）について ⑦理事長、副理事長及び専務理事の職務の執行状況報告に関する件 ⑧千島連盟理事長表彰に関する件 ⑨平成 28 年度監事監査計画に関する件

開催期日等	議 題
第 2 回 5 月 30 日(月) 札 幌 市 出席者 24 名	①専務理事の互選について
第 3 回 2 月 22 日(水) 札 幌 市 出席者 21 名	①理事長、副理事長及び専務理事の職務の執行状況の報告に関する件 ②平成 29 年度事業計画（案）に関する件 ③平成 29 年度収支予算（案）に関する件 ④公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟事務局規程の一部改正（案）に関する件

ウ 監事監査

実施期日等	実施監事	監 査 対 象
第 1 回 4 月 21 日(木) 千島会館	金田 慎吾 本田 幹子	平成 27 年度千島会館の業務執行及び財産並びに会計の状況
第 2 回 4 月 25 日(月) 連盟事務局	金田 慎吾 本田 幹子	平成 27 年度千島連盟（千島会館を除く）の業務執行及び財産並びに会計の状況

エ 企画運営委員会

開催期日等	議 題
第 1 回 7 月 28 日(木) 札 幌 市 出席者 8 名	①自由訪問、北方領土墓参、ビザなし訪問について ②北方四島医療支援促進事業の委託契約について ③会費未納による会員資格喪失者の対応について ④平成 28 年度「北方領土の語り部」登録等について ⑤平成 28 年度「北方領土の語り部」事業について ⑥北対協融資制度の充実に関する要望について ⑦北方領土隣接地域振興等基金による助成について ⑧千島連盟創立 60 周年事業について ⑨高校生からの提案による「望郷の礎」について ⑩後継者活動委員会の動きについて
第 2 回 11 月 25 日(金) 札 幌 市 出席者 8 名	①請願・要請等の状況について ②平成 29 年度内閣府・外務省の概算要求について ③第 20 回内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）表彰について ④「北方領土の語り部」登録証について ⑤平成 28 年度自由訪問、北方領土墓参等の実施状況について ⑥平成 29 年度自由訪問、北方領土の実施箇所（案）について ⑦千島連盟創立 60 周年事業に関するアンケート結果について ⑧領土交渉に関する政府方針への対応について ⑨次回（H29）役員改選について

開催期日等	議 題
第3回 3月6日(月) 札幌市 出席者 9名	①平成29年度事業計画書の修正について ②北方四島交流代表者間協議の開催結果について ③北方四島連絡調整会議について ④要望書について ⑤理事長表彰について ⑥財産権の保護に関する検討方法について ⑦千島連盟設立60年事業(案)について

附属明細書

平成28年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書については、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないことから作成していない。

<資料1>

平成28年度 関係機関・団体別署名収集数

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

団 体 名	署 名 収 集 数
公益社団法人全国自衛隊家族会	257,682
長野県民会議	169,050
宮城県民会議	153,974
公益社団法人北方領土復帰期成同盟	135,252
北海道総務部北方領土対策本部	131,833
長崎県民会議	114,885
山形県民会議	80,497
和歌山県民会議	73,238
公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟	46,217
愛媛県民会議	44,385
石川県民会議	42,015
岐阜県民会議	28,414
上記以外の県民会議	96,615
その他	27,855
合 計	1,401,912

公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟

<資料2>

平成28年度 会員数

(平成29年3月31日現在)

支部名	元島民数 29.3.31現在	平成28年度 正会員数	左 の 内 訳				賛助会員数		会員合計	
			新規会員数		継続会員数		団体	個人		
			元島民	後継者	元島民	後継者				
道 央	954 (52)	402 (7)	0 (0)	13	201 (7)	188	0	25	427 (7)	
函 館	248 (11)	90 (1)	0 (0)	3	55 (1)	32	0	1	91 (1)	
道 北	200 (4)	78 (1)	1 (0)	2	41 (1)	34	0	0	78 (1)	
オホーツク	281 (6)	148 (2)	0 (0)	4	75 (2)	69	0	8	156 (2)	
十 勝	194 (7)	64 (0)	3 (0)	1	35 (0)	25	0	1	65 (0)	
釧 路	803 (44)	198 (9)	0 (0)	4	128 (9)	66	0	1	199 (9)	
厚 岸	57 (1)	62 (0)	0 (0)	2	30 (0)	30	0	1	63 (0)	
浜 中	48 (5)	50 (3)	0 (0)	2	26 (3)	22	0	1	51 (3)	
根 室	1,236 (60)	671 (9)	7 (0)	31	321 (9)	312	4	17	692 (9)	
別海町	121 (8)	177 (3)	0 (0)	5	66 (3)	106	2	3	182 (3)	
中標津	117 (7)	122 (2)	0 (0)	2	53 (2)	67	4	11	137 (2)	
標 津	77 (5)	105 (2)	1 (0)	7	35 (2)	62	0	6	111 (2)	
羅 臼	100 (7)	119 (4)	0 (0)	4	34 (4)	81	2	0	121 (4)	
関 東	709 (65)	371 (9)	1 (1)	16	139 (8)	215	0	0	371 (9)	
富 山	492 (5)	290 (1)	2 (0)	21	132 (1)	135	1	6	297 (1)	
支 部 以 外	道内	303 (10)	88 (4)	0 (0)	5	52 (4)	31	2	7	97 (4)
	道外	555 (32)	226 (7)	1 (0)	11	110 (7)	104	1	11	238 (7)
合 計	6,495 (329)	3,261 (64)	16 (1)	133	1,533 (63)	1,579	16	99	3,376 (64)	

※元島民数及び正会員数の()は、平成20年4月1日施行の旧漁業権者法の一部改正に伴う
新元居住者の内数